

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 環境物質化学コース 准教授 西岡 求

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成28年度担当科目 総合工学実験実習Ⅰ(1年)、バイオ分子工学(4A)、バイオプロセス工学(5A)、基礎研究(4A)、卒業研究(5A)、生物工学(専攻科2年)、環境工学(専攻科2年)、工学特別ゼミナールⅠ(専攻科1年A)、工学基礎研究(専攻科1年A)、工学特別研究(専攻科2年A)</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点) バイオプロセス工学では知識の定着を図るため、单元ごとに計15枚の演習プリントを配布した。各自で事後復習できるよう詳細な解答も公開した。</p> <p>◆ 特記すべき教育方法の実践例 AL研究会の委員として、低学年講義科目におけるALの有効性を議論するワークショップを開催した(関西工学教育協会・高専部会との共催)。</p>
研究	<p>◆ 平成26~28年度における研究業績</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学術論文執筆 鉄鋼スラグの高pH水拡散特性と生態系への影響に関する研究(第11回環境地盤工学シンポジウム発表論文集)(共著・2015/7)【査読有】 大阪府立大学高専における安全教育の紹介(工学教育)(共著・2015/5)【査読無】 市民として必要な基礎・基本の化学Ⅷ 化学を専門としない学生を対象とした化学実験一高専1年生を対象とした実験実習例一(化学と教育)(単著・2014/4)【査読無】 ■ 国際会議での発表 SEARCH FOR MICROORGANISM OF OPTIMAL ELECTRON TRANSPORT PROPERTY (The 27th International Symposium on Transport Phenomena) (ホノルル2016/9) ■ 学術講演会での発表 グリセリン微生物燃料電池の作製と出力特性(日本高専学会第22回年会)(沼津2016/8) 他6件 <p>◆ 平成26~28年度における外部資金獲得状況 科研費基盤研究(C)分極改善に基づく高性能な微生物-酵素ハイブリッド型燃料電池の開発(平成28~30年度・3700千円)</p>
社会貢献	<p>◆ 平成26~28年度における公開講座・出前授業の取組状況 平成28年度公開講座・子と親の楽しいかがく教室(七宝焼) 平成28年度公開講座・中学生の化学実験教室(DNAを取り出してみよう) 他4件</p> <p>◆ 平成26~28年度における学会などでの委員 関西工学教育協会高専部会・幹事 日本生物工学会関西支部委員</p>